

教 師 ノ ー ト

日付	2012年 7月22日
単元	伝道メッセージ
テーマ	イエス・キリスト
タイトル	道・真理・いのち
テキスト	ヨハネ14:6
参照箇所	マタイ7:13、ヨハネ15:13、Ⅱコリント5:4、マタイ16:26
暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)	ヨハネ14:6
AG 日曜学校教案参照箇所 (リンクできます)	

□導入

今日は、世界中のたくさんの人が励まされてきたヨハネ14:6と一緒に読んでみましょう。

□ポイント1 イエスさまは、道です

イエスさまは、「わたしは道です」と言われました。イエスさまを信じてイエスさまと一緒に歩いていく時、私たちは天国を目指して、父なる神さまのもとへ行くことができます。どんなに広い道に見えても、またたくさんの人がそっちに向かっていても、滅びに向かってしまうことがあります。いのちの道は狭い、それを見つける人は少ないってイエスさまは言われました。



これは何のマークが分かりますか？ そう、「一方通行」のマークです。車を運転している時に、この標識を見落としてしまって、反対に走ってしまうと警察官に捕まって罰金を払うことになります。そして交通ルールを守らないと、事故になっちゃいます。「赤信号、みんなで渡ればこわくない」って誰かが言ったんだけど、信号無視して赤信号をみんなで渡るとどうになってしまうか、分かるよね～。この一方通行のマークをみんなが見落として反対に歩いていて、自分だけ矢印の方向に向かって歩いていたら、自分が間違っているように感じちゃうよね。でも、どんなにたくさんの人々が矢印の反対に歩いていても、正しいのはこの矢印の方向に向かって歩いていくことなんです。

でも、たくさんの人たちがイエスさまのことに気づかなくて、神さまとは反対の方向に向かって生きています。教会のことも、聖書のことも知らないで生きていて、信号無視をして事故にあうように、愛の神さまとは反対方向、いじめたり、けんかしたり、悪口を言い合ったり、人間関係の交通事故にあってしまうんです。イエスさまを信じてイエスさまと一緒に生きていく道は、愛の神さまに向かっていく道なんだよ。

□ポイント2 イエスさまは、真理です

カラーコピー機が出来た時に、1万円札を両面コピーして使ったことが見つかり、警察につかまった人がいました。偽もののお金は使えないよね。「オレだよ、オレ、オレ」と言って息子や孫のふりをしてお年寄りの方をだます「オレオレ詐欺」、賞味期限を変えて食べ物を売っていた店、外国産のうなぎを日本産と言って売っていた店、牛のミンチ肉に違う肉を混ぜて売ること、偽もののブランド品、偽ものの神さま……、嘘を言う偽り、本物のように見える偽ものに関する事件が、毎年、毎年ニュースになっています。悲しいことです。偽ものと分からなかったら、どうなってしまおうでしょうか？…だまされて損をしたたり、危険な目にあったりします。

イエスさまは、「わたしこそが真理です」と言われました。イエスさまは神の子ですから、間違いませんし、裏切りません。聖書に書かれているイエスさまの言葉は、正しいのです。イエスさまを信じて、聖書のイエ

スさまの言葉を信じて、クリスチャンになった人々が世界中で今までもたくさんいました。何十億、何百億、何千億人いるでしょうか？イエスさまを信じ続けた人は、地上での生涯が閉じる時に、「イエスさまを信じて損をした」、「イエスさまの言葉を信じてきたけど、裏切られた。信じなければ良かった」、そう思う人は1人もいないはずです。なぜならイエスさまは、真理だからです。偽せものの神さまではなく本物の神さまだからです。聖書に書かれているイエスさまの言葉は、嘘や偽り、だますことはありません。だから私たちは、もっとイエスさまの真理の言葉、聖書を読んでいきましょう。

□ポイント3 イエスさまは、いのちです

天気予報は、当たったり外れたりします。電車やバスも、事故とかの影響で時間通りに来れないことがあります。「絶対こうだ」と言えるものは本当は少ないので、私たちはいろいろなことの準備をすることが大切です。でもどんなにテストの点が良くても、お金持ちでも、スポーツが良くできても、「絶対」、「100%」どんな人も避けられないことがあります。なんだか分かりますか？・・・それは、人は必ず死ぬということです。

先生もいつかは分かりませんが、みんなとお別れをしなければならない時がやってきます。死んでしまうって悲しいよね。先生は小学生の時、死んでしまったらどうなるんだろうってとっても怖くなったのを覚えています。どうして死んでしまうんだろう？？？聖書は、人は罪を犯したから死ぬようになったんだと教えています。しかし、イエスさまは私たちの罪を代わりに背負って十字架にかかってくれました。私たちの罪のためにイエスさまは十字架にかかれたのです。そして、3日目の日曜日に死を打ち破ってよみがえられたのです。心臓が少しの間だけ止まって、そのあとマッサージをして生き返った人の話は時々聞きます。良かったなあと思います。でも、その人もまたいつか死んでしまいます。でもイエスさまは、死んでよみがえってくださり、天の父なる神さまのところにいて、今も生きておられるのです！このイエスさまを信じる時に、一度は死ぬんだけど、死んで終わりではありません。また他の動物に生き返るのでもありません。みんなはみんなとして、父なる神さまのおられる天国へ行き、私たちもイエスさまと同じ永遠のいのちが与えられるのです。

そしていのちの主であるイエスさまを信じる時、生きている今も、恐ろしいことや不安や、「もう生きていくのがしんどい、いやだ」という気持ちが小さくなり、生きる喜びと感謝、力がわいてきます！

□結論 イエスさまは、父なる神さまと私たちの懸け橋です。

□適用（聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう）

1. イエスさまの教会に行こう・・・たくさんの人がイエスさまのことを知らなくて教会に来ていなくても、これからイエスさまを信じて、イエスさまの教会に行こう！

2. イエスさまの言葉を信じよう・・・どんなイエスさまの言葉を知っていますか？聖書を読んでいますか？イエスさまは裏切りません。聖書を読んでイエスさまの言葉をたくさん信じていきましょう。

3. 悲しいこと、辛かったこと、生きていくのがしんどいなあと思うことがあるでしょうか。イエスさまを信じる時に与えられるいのちは、死よりも大きくて強いのです。「いのちの主であるイエスさま、死ぬほど悲しいこと、つらいことをのりこえる力を与えて下さい」と一緒に祈りましょう。